

人権啓発映像教材 ビデオ(VHS)

番号	題名	購入年	時間	ジャンル	内容
2110	私が私らしくあるために～職場のコミュニケーションと人権～	2009年	26分	企業向け人権教育	社会情勢の厳しさから雇用環境が悪化している現在、雇用形態の多様化などにより職場でのコミュニケーションが一段と取りづらくなっています。職場の一人一人が自分らしく働くためにはどうすればいいのかを、コミュニケーションと人権の視点から考えます。
2109	ケータイトラブル	2009年	25分	子どもの人権	ケータイによる犯罪・事件に子どもが巻き込まれる事案が増えてきています。子どもがケータイトラブルを起こして犯罪者・被害者にならないよう3つの事例で紹介します。
2108	あなたの彼氏彼女は大丈夫？	2009年	19分	DV(ドメスティックバイオレンス)	デートDVの実例や解説をとおして、デートDVを防ぐための方策について学べます。
2107	部落の歴史(明治～現代)	2007年	26分	人権教育	貧困や学歴などを理由とする明治以降の差別意識と、中世からの古い差別意識が複雑に重なりあって現代の部落差別は形成されています。このように近代化が存続させた差別をテーマに取り上げ、私たち一人ひとりが社会システムそのものの在り方を見つめ直す必要があることを伝えています。
2106	部落の歴史(中世～江戸時代)	2007年	27分	人権教育	小・中学校の教科書の部落史一部改訂に伴い、本格的な歴史研究が進みつつある中で、差別の源流を探るため、中世から江戸時代までの部落の歴史を学べる作品。
2104	企業と人権	2007年	30分	企業向け人権教育	企業内で起こりうる身近な人権テーマを5つ取り上げ、人権漫才を取り入れたユニークな手法で、課題解決に向けたキーワードがたくさん盛り込まれています。

人権啓発映像教材 ビデオ(VHS)

番号	題名	購入年	時間	ジャンル	内容
2103	心のキャッチボール (アニメーション)	2007年	23分	小・中学生向け 人権教育	家庭や学校をはじめとする社会とのつながりの中で、現実や夢とどのように向き合って生きていけばよいのかに戸惑う中学生の姿を通して、「他人を尊重して行動すること」「自己を肯定し、自分を大事にすること」などを学ぶ。
2101	火垂るの墓 -ほたるのはか-	2005年	88分	平和学習	4歳と14歳で生きようと思った。昭和20年6月から9月にかけて日本の敗戦をはさんだ約三ヶ月間を舞台に、十四歳の清太と四歳の節子二人の兄妹の生活を描く。平和について問う作品。スタジオジブリ制作。
2100	子ども連れ去り被害防止～地域で考える防犯～	2005年	22分	子どもの安全	昨今、子どもが被害者となる凶悪犯罪が多発している。子どもを連れ去りから守る最善の方法は、地域の住民同士の関係を強め、防犯に対する関心を地域で高めることである。ビデオを通し、地域の大人たちが子どもを守るために何ができるか考える。
2099	ケースで学ぶパワーハラスメント対応(全2巻)	2005年	各巻 20分	企業向け 人権教育	部下を始めとする相手のタイプ別の話し方・接し方(第1巻)、上司などパワーハラを行う可能性のある人向けにセルフチェックを促すためのケースドラマ・ケース解説(第2巻)の2巻で構成。9つのケースドラマ・解説を通して、「パワーハラ」と「効果的な指導」のボーダーラインに気付き、ケースバイケースの対応を知る。
2098	見えないライン	2005年	55分	企業向け 人権教育	社会がもつ矛盾(学歴、階層、不平等など)をキーワードにドラマを構成。ドラマを基軸にしながらインタビューを交え、社会全体の中に差別を位置付け、一人一人の人権が守られる社会のあり方を問う。
2097	女性の人権を考える	2005年	25分	企業向け 人権教育	ドメスティック・バイオレンス(DV)やセクシャル・ハラスメント被害の実体験談を通して、女性差別の根元にある意識を問い、男女平等社会を作っていく上で大切なことは何かを学ぶ。

人権啓発映像教材 ビデオ(VHS)

番号	題名	購入年	時間	ジャンル	内容
2096	人権入門	2005年	23分	企業向け 人権教育	日常生活の中にある「人権」について考える10個のヒントを主人公(サラリーマン)の一日を通して考えていく。日常生活のいろいろな場面で人権問題と深く関わりを持っていることに気づく。
2095	はっきりことわろう 誘拐されないぞ！ (アニメーション)	2005年	15分	安心 安全	誘拐防止のチェックポイントを身近なキャラクターと一緒に学ぶ。幼い子供が被害を受け、事件にもなっている世の中で身近なところから子供も保護者も防犯や安心・安全に対しての意識を高くもてる。
2094	めばえの朝 (アニメーション)	2005年	41分	人権教育 男女共 同参画	誰もが生きる喜びを感じ、安心して暮らしていくためには一人一人の人権が尊重される、平和で豊かな社会を築いていかなければならない。誰もが自分らしく幸せに生きていけるように様々な人権を自分自身のこととして考え行動する意義を描く。
2093	コロトウダイケンヘン 葫蘆島大遣返 ～日本人難民10 5万引揚げの記録 ～	2005年	96分	平和学習	葫蘆島からの日本人難民105万人もの引揚げの記録。この記録は、今の平和な時代がどんな歴史の積み重ねの上に築かれているかを物語っている。人間には決して忘れてはならないこと、語り継がなければならないことがある。歴史を掘り起こし、戦争と平和を問う。
2092	大地の母きくゑ	2005年	32分	人権教育	部落差別を乗り越え、苦悩しながらも周りの人々の温かい心に支えられながら、生き抜いてきたきくゑ氏。昔の生活苦から考えだされたうどん作りが地域社会で役立つこととなり、現在も活動中。うどん作りを通して語りかけるドキュメンタリー作品。
2091	小さな叫び	2005年	30分	子ども の人権	先入観やジェンダー、児童虐待問題をテーマにした作品。言葉の暴力やしつけと虐待の違いについて考えるきっかけを与える内容。

人権啓発映像教材 ビデオ(VHS)

番号	題名	購入年	時間	ジャンル	内容
2090	ソーテサワサワ	2005年	34分	外国人 の人権	言葉も文化も異なる日本で暮らす外国人が増加している社会で、日本人に外国人排除差別意識が芽生えている。人間の価値はみな同じであると全ての人々に願いを込めて語りかける作品。
2089	もう一度あの浜辺へ	2005年	38分	高齢者 の人権	現在、老人介護や高齢者に対する虐待が深刻な社会問題となってきた。こうした問題は、どこの家庭でも誰の身にも起こりうる身近な人権問題。この作品を通して、高齢者が安心して心豊かな生活を送ることの出来る社会を築いていくにはどうしたらよいか考える。
V3	もっと素敵にハーモニー	2005年	30分	ドラマ 男女共同 参画	仕事一筋で家庭をかえりみない博(大和田伸也)。家のことや地域のことは妻に任せっきり。子どもとの会話もない状態に家族の不満がつもの。そんな博が怪我をした父の世話をすることに。介護休業中に出会った人たちの、イキイキとした生活ぶりに触れ、やがて博の意識と行動に変化が見え始める。
2088	対馬丸 -さようなら沖縄- (アニメーション)	2004年	75分	平和学習	昭和19年夏、太平洋戦争が激しくなると日本軍は本土決戦に備え、沖縄の子供たちを学童疎開させる命令を出した。疎開中、アメリカの攻撃により多くの犠牲者が出た歴史的悲劇を忘れず、後世に語り継ぐ内容。戦争にかかる全国各地の歴史的経緯などを知るためにも意味を持つ内容。
2087	陽だまりの家 (アニメーション)	2004年	42分	高齢者 女性の 人権	人と人々が共に生きること、命の尊さ、高齢者の介護、男女共同参画社会の実現、世代間の交流など様々なテーマを描く。人間一人一人に幸せに生活する権利があり、また誰もが幸せな生活を送るためには、どうすればよいかを学べる。
2086	盲導犬クイールの 一生(アニメーション)	2004年	25分	人間愛	様々な訓練を受け、盲導犬となったクイールの一生(育ての親やパートナーとの出会いと別れなど)を描く。人を思いやる心を身につけたり、人と触れ合う大切さを感じることができる。映画や単行本でも話題になった作品のアニメ版。

人権啓発映像教材 ビデオ(VHS)

番号	題名	購入年	時間	ジャンル	内容
2085	ニヤニがニヤン だーニヤンダーか めんの誘拐防止 ミーコちゃんちゃん とチェック！(アニメーション)	2004年	11分	安心 安全	誘拐防止のチェックポイントを身近なキャラクターと一緒に学ぶ。幼い子供が被害を受け、事件にもなっている世の中で身近なところから子供も保護者も防犯や安心・安全に対しての意識を高くもてる。
2084	ぬくもりの彩	2004年	36分	高齢者 の人権	高齢者の介護を通して家族の温もりとは何かを描く。今後、高齢化社会がますます進展することが予想される中で、高齢者をめぐる様々な人権に向き合える内容。
2083	新しい風	2004年	25分	虐待	大きな社会問題となっているドメスティック・バイオレンスや、親から子への虐待。都市化・核家族化が進むなかで、地域の間人関係が薄れ家庭の孤立化が指摘されている。自分たちが住みよいまちづくりを目指すために何が必要か、周りの家族や他人とどのように接していけばよいかなどを考える良い機会となる。
2082	ジェンダーフリー の職場づくり/2	2004年	20分	女性の 人権	第1巻の職場のジェンダー・フリーについてのドラマを振り返り、問題となる言動とその類型的な行為(事例)を取り上げつつ、ジェンダー・フリーの考え方、人を性別ではなく「個」で見て接することの重要性を解説。
2081	ジェンダーフリー の職場づくり/1	2004年	17分	女性の 人権	ひとつの職場を舞台に職場の同僚同士、あるいは取引先との間で起こる様々な出来事を通して、職場のジェンダー・フリーについて考え、討議する材料を提供。
2080	明日 TOMORROW	2004年	105分	平和学習	1945年8月9日、長崎に原子爆弾が投下され、約75,000名の人々が爆死、街は一瞬に破壊された。その前日の8月8日から爆弾投下直前までの長崎の庶民群像などを描き、声高に反核、反戦を唱えることなく戦争の悲劇などを後世に語り継ぐ。

人権啓発映像教材 ビデオ(VHS)

番号	題名	購入年	時間	ジャンル	内容
V2	何だろう？自分らしい生き方って	2004年	17分	女性の 人権	「男らしさ」「女らしさ」とは何だろう 普段はあまり意識されない「男は仕事、女は家庭」といった旧来の価値観も、男女の役割を逆転させてみると、その不自然さが際立ってくる。ミニドラマで見てみよう。
V1	変えよう！企業風土	2004年	23分	女性の 人権	女性も男性も生き生きと働きつづけられる企業—それが21世紀に求められる企業像です。 ポジティブ・アクション(積極的改善措置)を実践する企業を通して、企業のあり方と働き方を考えます。
2072	風と大地と梨の木と 第4章	2004年	51分	ドラマ 子ども 外国人	キャスト:徳山昌守(洪 昌守) WBC世界チャンピオン 国籍の違いに悩む二人の少年。高校のボクシング部を覗いた二人の前に突然現れた徳村。「なぜオレが祖国でないここにいると思う？なぜ君が自分のせいじゃないことで苦しむ？こんな不幸を生んだのは何か？我々は今、このために戦うべきなんだ。」徳村の言葉は二人に重く響く。
2071	人にいちばん近いまち2	2004年	54分	ドラマ 同和問題	不登校の少年、同和地区に生きる古老と少年をあずかることになった女性。世間体というオバケに心を乱す少年をめぐり、三人の思いが交錯する。人と自然の共生、さらに人間の根元的なあり方を問いかけます。
2070	こころの交響曲	2004年	43分	アニメ 人権全般	家庭の身近なところで起こる言葉や力による暴力の問題を取り上げ、人間の尊厳・いのちの尊さ、自他ともにより良く生きていくためには何が必要かを考え、家庭のあり方を見つめ直します。
2069	同級生	2004年	30分	ドラマ 同和問題	小学5年生の河瀬早苗は、父の転勤により東京から滋賀県に引っ越してきた。そこは父の故郷だが、早苗は馴染めず、友達をつくることも出来ない。 ある日、早苗は父の旧友・守に、娘の里菜を紹介され、所属する和太鼓クラブへの入部を希望する。しかし父は、なぜか強固に反対する・・・。

人権啓発映像教材 ビデオ(VHS)

番号	題名	購入年	時間	ジャンル	内容
2068	同和問題 これからの課題	2004年	28分	同和問題	差別解消を目指し、1969年に「同和対策事業特別措置法」が施行された後、33年にわたって実施されてきた「同和対策事業」は2002年3月に法期限を迎え、この法律に基づく事業は終了しました。過去のドキュメンタリー映像から、当時の同和地区の状況を知るとともに、現在を取材して同和問題の今を見つめます。何が変わって何が変わらなかったのかを検証し、これからの同和問題を考えます。
2067	女性の人権を考える	2004年	25分	女性	ドメスティック・バイオレンスの当事者、セクシャル・ハラスメントの被害者の方々に取材し、女性の人権問題について日頃から無意識に抱いている「男らしさ」「女らしさ」を問い直すことから考えます。
2066	部落の心を伝えたい1 更池の語り部 吉田小百合	2004年	30分	同和問題	自分の生き立ち、父のこと、母のこと、兄のこと、そして子育て。彼女の思いを、命を慈しむ人間の思いを一人でも多くの人に知って欲しい！ 自らの生き立ちの中から“差別とは何か”“部落の誇りとは何か”について語り続けます。
2065	ま・さ・か わたしが！？	2004年	25分	情報社会	現代社会では、携帯電話やインターネットなどで不特定多数の人に瞬時に情報発信ができるようになった。「まさか、私の流した情報が、こんなに人を苦しめることになるうとは…」「まさか、わたしがこんな目に遭うなんて…」 ますます進展する情報化の中で、どうすれば豊かな人間関係を築き、お互いの人権が
2064	出会い ～在日コリアン三世と日本の若者たち～	2004年	30分	在日外国人	鄭亜美(チョン・アミ)さんは今年、二十歳。東京の大学で学ぶ在日コリアン三世だ。 亜美さんと日本の若者たちが、その「出会い」のなかから、お互いのルーツを見つめ合い、真に共生できる未来を模索する姿を描く。
2063	オモニの想い ～在日コリアン戦後、そして今～	2004年	30分	在日外国人	戦後、日本政府により一方的に日本国籍を剥奪された在日コリアンは、長い間、国籍違いによる差別に苦しんできた。在日三世、四世の若者たちが国籍や民族の違いを理由に差別されない日本社会を願って、高校生と大学生のふたりの子どものオモニ(おかあさん)である申点粉(シン・チョンブン)さんは、その想いを語る。

人権啓発映像教材 ビデオ(VHS)

番号	題名	購入年	時間	ジャンル	内容
2062	ハルモニたちは踊る ～在日コリアン二世が歩んだ道～	2004年	30分	在日 外国人	日本の朝鮮植民地支配のため、意に反して日本で暮らさざるをえなくなった在日コリアンの歴史を、日本人に正しく知ってもらうことが共生への第一歩と考え、在日コリアン二世の徐玉子(ソ・オクチャ)さんは、一世のハルモニ(おばあさん)たちの人生を記録に残すことを始めた。